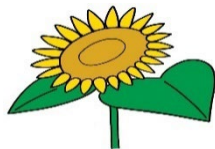


Life
Support
TEDAKO

QSK 令和5年6月夏号 No.242 発行部数 3,000 部
NPO 法人ライフサポートてだこ 代表/嵩原 清
〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 3-13-12
Tel. 098-875-2557 Fax. 098-875-2666
E-mail: lstedako@yahoo.co.jp HP: http://www.lstedako.com/

ひだまり通信



ガーデニングクラブ活動



たくさんの野菜を収穫しました☆



作業を頑張っている利用者 T さんの様子！



♪ 中庭でティータイム ♪



あんでは元気なおじいおばあ
達が様々な場所へ出張駄菓子
販売を行っています！
是非問い合わせください♪
TEL: 098-989-0733
担当: 狩集、外間



小規模多機能ホームあんでは苗から育てたゴーヤやナス、きゅうりが収穫できました。利用者さんを中心に水やりや苗の植替え作業を一緒に楽しむことができます。収穫した野菜を調理して食べて頂くと「愛情込めて出来た野菜だからとっても美味しい！」と大好評でした。

今後は収穫した野菜の販売にも挑戦していき、利用者さんとガーデニング活動を楽しんでいきたいです。他にも活動の様子を SNS に投稿しています！こちらチェックして下さい♪

Instagram



YouTube



こっこのは・な・し

コロナもあけ、子ども達も周りに遠慮することなく遊べる機会が増えてきました
こっこの部屋の中での勉強やおやつ作り、
野外活動でもみんな元気な笑顔です



インスタやってます！是非見に来てください！

♪ スマイル通信 ♪ from テイサービスセンターえん

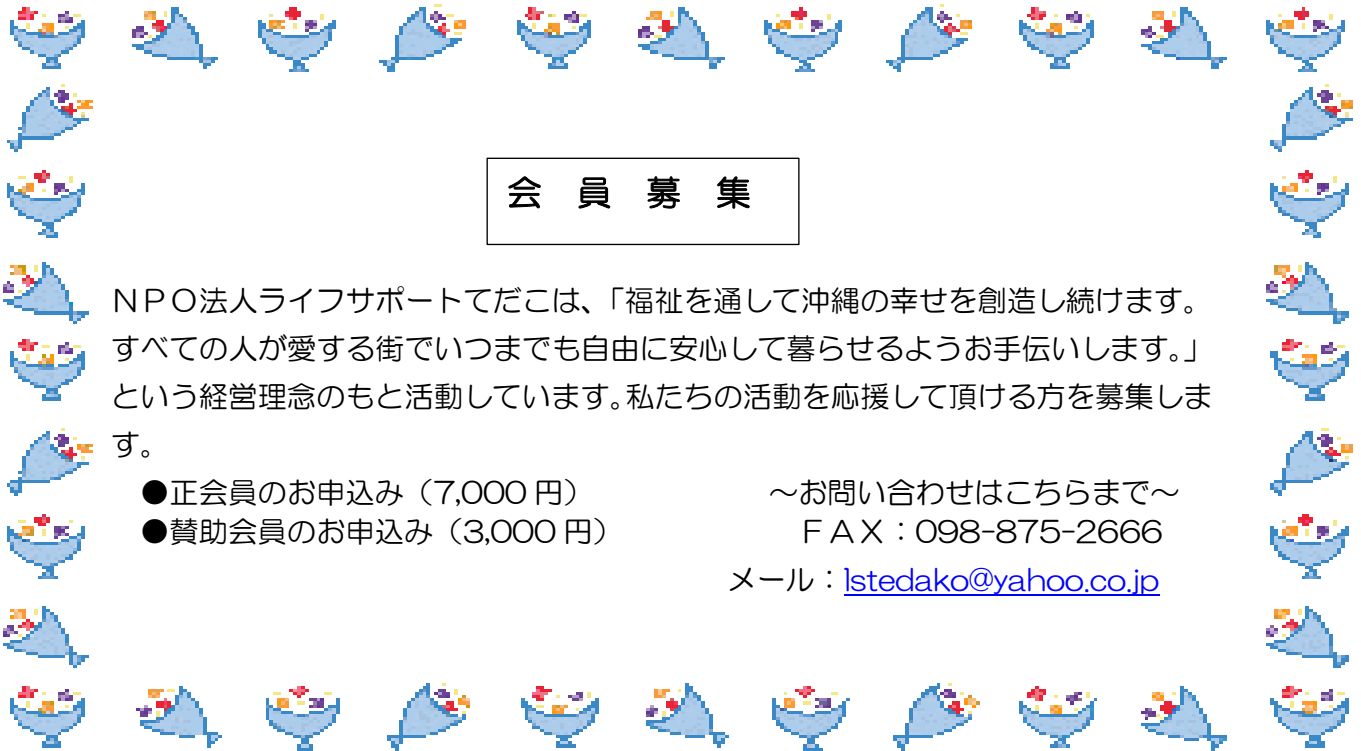
3年ぶりのドライブ!!



えんのインスタ!!
随時更新中!!



3年ぶりの外出レクができました 😊
平安座島の道の駅で美味しいご飯を食べて皆さん楽しかったと言ってくれました 😊
コロナも落ち着いてきてるのでどんどんドライブで出かけましょう 🌸



会 員 募 集

NPO法人ライフサポートてだこは、「福祉を通して沖縄の幸せを創造し続けます。すべての人が愛する街でいつまでも自由に安心して暮らせるようお手伝いします。」という経営理念のもと活動しています。私たちの活動を応援して頂ける方を募集します。

- 正会員のお申込み (7,000 円)
- 賛助会員のお申込み (3,000 円)

～お問い合わせはこちらまで～
 F A X : 098-875-2666
 メール : lstedako@yahoo.co.jp

お知らせ

☆☆ 求人募集 ☆☆

主任介護支援専門員、介護支援専門員、
 保健師・看護師、社会福祉士
 勤務時間：8時30分～17時30分
 休日：土・日・祝日・その他
 賃金：205,000円 ～ 300,000円
 (交通費別)

いつか居宅介護支援(ケアマネ)で起業を考えている方も一度遊びに来て下さい!!!

※↓こちらも募集してます↓※

- ☆児童デイサービスこっこ 児童指導員
 - ☆小規模多機能ホームあん 介護士
 - ☆デイサービスセンターえん 介護士
- お問い合わせ：098-875-2557 (泉水)

ていーだカフェ ☕
 (認知症のことや介護など交流の場)
 毎月 第4土曜日
 (10:00~12:00・14:00~16:00)
 場所・えんカフェ(浦添市宮城3-9-18)

認知症のことや高齢者介護の事など、一人で悩んでいませんか?話すことで気持ち楽になったり、解決の糸口が見つかるかも!ぜひ一度おこし下さい。
 事前予約もOK!
 (098-875-2557 宮里・古波蔵)

和顔愛語・起きて半畳寝て一畳

こどもの日が終わったと思えば、5月の第2日曜日は母の日である。私が幼いころの母親は一言で言い表すと“ヒステリック”という表現がピッタリである。誤解されない為に最初で伝えておきたいが24時間365日怒り狂っている訳ではない。愛情とユーモアたっぷりに接してくれる時間もあつたが、少しヒステリックな部分が多いと言うことだ。ホント少しだけね。とにかく怒る理由を見つけるプロである。何かに付け怒り出し、反抗しようものならとんでもないことになった。雨に打たれて帰宅したら「なんで濡れて帰ってきた！」とバケツが飛び、遊んで怪我をしたら「なんでケガした！」と怒られ、送ってくれた友人までも怒号の巻き添えを食うことは茶飯事だった。母の同行する習い事では学ぶことよりも隣の熱量と顔色だけが気になり何も頭に入らず、何のためにこの場にいるのか、よくわからない時間を過ごしたこともあつた。今となつては私の言動、態度、行動に欠陥があつたことと、しつけ、愛情だつたと思うことができるが、とにかく恐怖でしかなかつた。

そんな母親も同居の祖母の介護と家事の両立で慌ただしくなり、顔を合わす時間も食事の時だけで限られるようになっていったが、必ず決まった時間に食卓に食事が並んだ。こどもながらに忙しそうな母の背中を目で追いながら、何かしてあげたいという思いに駆られた。できそうなことを考え食事を作ってあげるという結論に至つたが、なぜそこに至つたかは全く思い出せない。

買い物まではめんどくさい…冷蔵庫にある在庫でどうにかしたい…私の調理技術と引算した結果“炒飯”が導き出され調理に取りかかる。フライパンを中火にかけ熱し、不格好で不揃いな具材を放り込んで、割った卵に入り込んだ殻を必死につまみ出し、キューピー3分クッキングの一場面をイメージし、フライパンから飛び出る具材も気にすることなく颯爽としゃもじでかき混ぜる。ご飯を投入しほぐしながら加熱し醤油、塩、胡椒を加えて味を調べ完成した。皿に盛りつけ、使用した調理器具を洗うが、ここで初めて異変に気付く。しゃもじが明らかに小さくなっている。そう、私が使ったしゃもじはプラスチック製。熱で溶けて2/3程度に縮小していた。プラスチックでコーティングされた艶やかな炒飯は既に母の口の中。母の怒号を聞く前に小さなしゃもじを定位置にそっと帰宅させ、私も自室へ帰る。勘の良い母は小さなしゃもじに気付いてすべてを察しているかもしれないが、あれから35年何の音沙汰もない。母は今年75歳。老眼鏡を味方に慣れない手つきでエクセル・ワードと格闘しているが、躓くとしつこいくらい私のスマホを鳴らし散らし、邪険にすると元気に怒り出す。プラスチックでコーティングされた炒飯の影響はないみたいだ。

最新情報はライサポホームページをCHECK! ⇒⇒⇒



LINEはこちら⇒⇒

